

強迫性障害現状学ぶ

28日宇都宮 専門家が講演



有園正俊さん

ひきこもり当事者の家族や支援者でつくるNPO法人「KHJとちぎベリ一会」は28日、精神保健福祉士の有園正俊さんを講師に招いて21周年記念講演会「強迫症と家族への巻き込み」患者・家族の葛藤と治療の現状」を開く。

手洗いがやめられなかったり、戸締まりが心配になり、確認を繰り返してなかなか外出できなかったりと、さまざまな不安や恐怖にさいなまれることで過剰な行動をとってしまう強迫症(強迫性障害)。会の発足21周年

を記念する今回の講演会では、ひきこもりの当事者にも悩みを抱える人が少なくないといわれるこうした症状をテーマにした。

ベリ一会によると、重い症状を抱える場合、1日の大半を強迫的な行動に費やしてしまうこともあり、本人はもちろん、同居の家族の日常生活に影響を及ぼすケ

スもある。「強迫症について正しく理解するとともに、改善のための具体的な方法を学ぶ機会にしたい」(同会の阿久津久雄・副理事長)という。

有園さんは、自身も強迫症を克服した経験を持ち、心理カウンセラーとして強迫症や、うつ関連疾患、発達障害を抱えた患者と家族への精神療法や相談を行っている。

講演会は、とちぎ福祉プラザ(宇都宮市若草1-10-6)で午後1時半から4時まで。受講料は一般1500円で、ひきこもりの当事者は無料。定員80人(先着順)。問い合わせは阿久津さん(090・3900・5643)。申し込みはフ

4437)やメール(aku@sky.ucatv.ne.jp)、電話のショートメール(SMS)も。
(高橋淳)

栃木



デジタル版
ニュースはこちら

宇都宮総局
〒320-0033
宇都宮市本町10-10
TEL 028-622-1761
FAX 028-622-1764
utsunomiya@asahi.com
大田原 0287-22-2170
小山 0285-39-8756

購読・配達のご用は
0120-33-0843(7~21時)
広告のご用は
028-651-6789
折り込みのご用は
028-660-4222